

## ＜ 副腎 ＞ 臓器別項目 (40点満点)

以下の各項目について、4段階で評価する。

- きわめて迅速、確実、安全、十分な場合……………5点
- 不十分な点があり、手術操作の延長や出血をきたしている場合……………3点
- 操作に明らかな問題があり、そのために臓器損傷や出血が生じているが、何とか克服している ……1点
- 操作に明らかな問題があり、許容しがたいと考えられる場合……………0点

審 査 項 目		採 点			
(1)	肝の挙上、脾の脱転、Gerota筋膜の広範な切開(後腹膜鏡の場合)などによって、副腎周囲に広い術野が確保されている	5	3	1	0
(2)	長時間迷うことなく、副腎を適切に同定している。	5	3	1	0
(3)	下大静脈あるいは腎静脈を危険なく操作している。	5	3	1	0
(4)	副腎周囲の脂肪組織の切開を、安全を確認しながら適切に行っている。	5	3	1	0
(5)	副腎静脈に適切にクリップをかけ、安全に切断している(クリップオンクリップ、半がかり、切断するクリップの間が狭すぎるなどがない)。	5	3	1	0
(6)	左手のトラクションが適正で、副腎および副腎腫瘍を損傷せずに摘出している。	5	3	1	0
(7)	大血管や腸管の近傍で、超音波メスの向き、電気凝固と組織との間隔などが適切で、副損傷の心配のない操作である。	5	3	1	0
(8)	周囲組織を損傷することなく副腎に到達、剥離している。	5	3	1	0

<b>合計</b>	<b>点</b>
-----------	----------